

二五 「下野国檀那之事」 抜粹（神宮文庫所蔵）

那須藤王丸の舍弟那須弥一、住地の烏山城の西城に因み「西城殿」と呼ばれる。

那須殿今ハ富久原ト云所ニ御入候、

那須之分 御城ノ名烏山ト申候、

文ハ鳥子、御奉行所書也、但藤王丸殿ト也、

一、藤王丸殿、那須殿御事也、

御土産 杉原式帖・油煙壺丁、

御初ハ式百文、近年之事也、

（中略）

能杉、鳥也、

一、西城殿 杉原二帖・油煙壺丁、初廿十疋、
（全那須刃）

□□□弥一殿ト申候、なす殿舍弟也、

同 上様江 帯・くし

杉

一、富岡河内守殿 帯・くし

右ノ人西城殿そうしや也、

【補注】

本文書は、近世初期ないし前期のものであるが、内容的に戦国時代的な面も含むことより、戦国時代・豊臣政権期編に入れた。